

# 報告承認事項

- 1) 第38期 活動経過報告 (提案者 根木事務局長) 拍手にて承認  
質疑応答なし
- 2) 第38期 会計決算報告 (提案者 眞子事務局次長) 拍手にて承認  
<質疑>  
Q. 予備費の流用についてもう一度説明して下さい。 (質問者 スズキ労組西條さん)  
A. 労金の特別会計増資分159,000円を雑費で支出した分です。雑費予算が不足していたので予備費より流用して予算を増やして支出しました。 (執行部答弁 眞子事務局次長)
- 3) 第38期 会計監査報告 (提案者 青島会計監査人) 拍手にて承認

## ご苦勞様でした！

### 「退任役員功勞表彰」

長きに渡りスズキ労連の発展にご尽力いただき、今回の大会を期に退任される役員の方々に對し、そのご功勞に感謝と敬意を込めて表彰をいたしました。



退任役員を代表して内山副会長からご挨拶をいただきました



加藤会長から表彰される内山福会長(右側)



加藤会長を囲んで退任役員のみなさん

#### <退任役員・功勞表彰>

氏名：内山 寿之  
役員期間：23期～38期(1994.9～2010.9)  
役職：副会長6期 中央執行委員10期  
出身単組：スズキ部品浜松労働組合

氏名：森崎 一郎  
役員期間：29期～38期(2000.9～2010.9)  
役職：副会長4期 事務局長2期 中央執行委員4期  
出身単組：スズキ労働組合

氏名：山本 正人  
役員期間：33期～38期(2004.9～2010.9)  
役職：中央執行委員6期  
出身単組：スズキ労働組合

氏名：宇野 陽二  
役員期間：34期～38期(2005.9～2010.9)  
役職：中央執行委員5期  
出身単組：岐阜スズキ労働組合

氏名：桑野 昇  
役員期間：35期～38期(2006.9～2010.9)  
役職：事務局次長4期  
出身単組：スズキ労働組合

氏名：眞子 仁  
役員期間：37期～38期(2008.9～2010.9)  
役職：事務局次長2期  
出身単組：スズキ精密工業労働組合

氏名：西岡 英治  
役員期間：37期～38期(2008.9～2010.9)  
役職：事務局次長2期  
出身単組：スズキ労働組合

氏名：鈴木 隆文  
役員期間：37期～38期(2008.9～2010.9)  
役職：事務局次長2期  
出身単組：スズキ労働組合

氏名：堀 順一  
役員期間：37期～38期(2008.9～2010.9)  
役職：中央執行委員2期  
出身単組：スニック労働組合

氏名：尾藤 慶二郎  
役員期間：37期～38期(2008.9～2010.9)  
役職：中央執行委員2期  
出身単組：スズキ労働組合

氏名：青島 智久  
役員期間：35期～38期(2006.9～2010.9)  
役職：会計監査4期  
出身単組：エステック労働組合

# 第39・40期の新役員体制スタート!

## 第39期・40期 役員立候補者一覧

| 役職       | 候補者氏名     | 現職               | 出身労組        |         |
|----------|-----------|------------------|-------------|---------|
| 会長       | 加藤 幸博 (現) | 会長               | スズキ労組       |         |
| 副会長      | 山本 満 (新)  | スズキ部品浜松労組 副執行委員長 | スズキ部品浜松労組   |         |
|          | 秋場 和彦 (現) | 副会長              | 平岡ボデー労組     |         |
|          | 古川 正明 (現) | 副会長              | スズキ労組       |         |
|          | 池富 彰 (新)  | 中央執行委員           | スズキ労組       |         |
| 事務局長     | 根木 一暢 (現) | 事務局長             | スズキ労組       |         |
| 副事務局長    | 堀 吉伸 (新)  |                  | 小楠金属・熱処理労組  |         |
|          | 小杉 尚 (新)  | 中央執行委員           | スズキ労組       |         |
| 中央執行委員   | 平塚 訓孝 (現) | 中央執行委員           | スズキ輸送梱包労組   |         |
|          | 佐藤 真一 (現) | 中央執行委員           | ベルソニカ労組     |         |
|          | 菅沼 伸好 (現) | 中央執行委員           | スズキ精密工業労組   |         |
|          | 嶋田 満 (現)  | 中央執行委員           | スズキ部品秋田労組   |         |
|          | 遠藤 登 (新)  | 副執行委員長           | スニック労組      |         |
|          | 白井 康晴 (現) | 中央執行委員           | 小楠金属・熱処理労組  |         |
|          | 太田 賢司 (現) | 中央執行委員           | エステック労組     |         |
|          | 鷲塚 三樹 (現) | 中央執行委員           | スズキ部品富山労組   |         |
|          | 山本 寿 (現)  | 中央執行委員           | 浜松パイプ労組     |         |
|          | 杉本 和義 (新) | 岐阜スズキ労組 書記長      | 岐阜スズキ労組     |         |
|          | 坂本 幸雄 (現) | 中央執行委員           | 遠州精工労組      |         |
|          | 後藤 智彦 (新) | スズキ販売労組 中央書記長    | スズキ販売労組     |         |
|          | 乾 一成 (新)  | スズキ販売労組 中央書記次長   | スズキ販売労組     |         |
|          | 野沢 卓志 (新) | スズキ労組 豊川支部長      | スズキ労組       |         |
| 上部団体派遣役員 | 武藤 憲司 (現) | 中央執行委員           | スズキ労組       |         |
|          | 鈴木 圭 (新)  | 事務局次長            | スズキ労組       |         |
|          | 光田 玄 (新)  | 事務局次長            | スズキ労組       |         |
|          | 春田 雄一 (現) | 上部団体派遣役員         | スズキ労組       |         |
|          | 渡部 豪 (新)  | スズキ労組 中央執行委員     | スズキ労組       |         |
|          | 笠原 賞憲 (新) | スズキ労組 相良支部長      | スズキ労組       |         |
|          | 会計監査人     | 嶋津 吉宏 (現)        | 会計監査人       | 浜松パイプ労組 |
|          |           | 中谷 順樹 (新)        | 遠州精工労組 執行委員 | 遠州精工労組  |



第39期・40期スズキ労連新役員一同

新役員を向かえ、第39期がスタートしたスズキ労連執行部です。組織拡大を主に取り組んでいた事務局次長2名がその任を終了し役職名も新たに副事務局長とし2名体制となる一方で、組織人員が増加したスズキ販売労組からは新たに中央執行委員2名が加わり、上部団体との連携強化のために上部団体派遣役員を3名体制とし、総勢30名の大所帯となりました。また、加藤会長、根木事務局長ともに専従会長、事務局長として継続いたします。

第39回定期大会において決定した運動方針の具体的な取り組みに向け、新役員を中心に労連加盟単組一丸となり活動の前進に全力で傾注していきたいと思っております。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

2010年10月 第343号



第39回定期大会特集号

静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079  
スズキ関連労働組合連合会  
発行人 加藤幸博  
編集人 小杉 尚

## 第39回定期大会開催 “明るい未来への一歩”に向け、新たな2年間がスタート!!

スズキ労連は、9月12日(日)に浜松商工会議所マカホールにて第39回定期大会を開催し、加盟労組・支部から代議員124名、傍聴者44名が参加いたしました。今大会は第39期・第40期、向こう2年間の運動方針を決定する大会にあたります。

大会では第39期・40期の運動方針を決定するとともに、役員改選も行い、加藤会長、根木事務局長のもと新役員体制が決定しました。また、新しい2年間のスローガン「築こう！希望が持てる社会を踏み出そう！明るい未来に向けた一歩を」が採択されました。新たなスローガンのもと、労働組合としての社会的役割をより一層自覚した上で、2年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



冒頭、加藤会長が執行部を代表して挨拶。

#### 【参加者】

代議員 124名 傍聴者 44名 来賓 5名 顧問 1名 執行部 30名 書記 2名 合計 206名

#### 【議件】

- 1) スズキ労連規約改定の件
- 2) 退職積立金の一般会計戻し入れおよびスズキ労連会計処理規定改定の件
- 3) 第39期・第40期運動方針(案)の件
- 4) 第39期・第40期役員定数・役員選挙の件
- 5) 第39期予算(案)の件
- 6) 特別決議 平成23年統一地方選挙必勝決議(案)

#### 【各種委員】 ☆印は各委員長

- ◎資格審査委員：4名  
☆山本 寿 <スズキ労連中執>  
村木 匠 <スズキ輸送梱包>  
小玉 尚 <スズキ部品秋田>  
杉本 和義 <岐阜スズキ>

#### ◎議事運営委員：4名

- ☆武藤 憲司 <スズキ労連中執>  
太田 智行 <ベルソニカ>  
時田 典之 <小楠金属熱処理労組>  
石附 桂太 <スズ新潟販売>

#### 【報告承認事項】

- 1) 38期活動経過報告
- 2) 第38期会計決算報告
- 3) 第38期会計監査報告
- 4) 特別報告 あり方・財政検討委員会報告



◎議長団：2名  
右：和田 真一 <平岡ボデー>  
左：澤井 淳司 <スズキ労組 磐田支部>

◎書記：2名  
伊藤 比佐江 <スズキ部品浜松>  
青葉 美奈子 <スズキ労連>

## 来賓のごあいさつ

大会の来賓として、自動車総連の西原会長、連合静岡の吉岡会長、静岡県労働者福祉協議会の平野理事長、直嶋正行参議院議員、池口修次参議院議員、藤本祐司参議院議員にご臨席を賜りご祝辞を頂きました。自動車総連の西原会長からは参議院選挙の御礼、スズキ販売各支部の組織拡大に対する御礼、自動車総連派遣役員の担当職務と御礼、構造転換期である自動車産業を取り巻く厳しい環境を乗り越えるためにさらなる連携強化が呼掛けられました。

参議院議員の方々には、第176回臨時国会を間近に控え大変お忙しい最中、私たちの大会に駆けつけていただき、過日の衆議院議員選挙における協力への御礼と民主党の現状と課題、世界経済、日本経済の現状と今後の経済対策、政府として今まで行った政策と今後何をしていくかということについてご挨拶をいただきました。



自動車総連 会長 西原浩一郎 様 連合静岡 会長 吉岡秀規 様 静岡県労働者福祉協議会 理事長 平野哲司 様



直嶋正行 参議院議員 池口修次 参議院議員 藤本祐司 参議院議員

## 【スズキ労連 加藤会長の挨拶】



本日の大会は、この2年間の活動を検証するとともに、中長期的な展望を持ちながら向こう2年間の運動方針を確認する大会です。心ひとつに実りある大会となりますように、よろしくお願いたします。

### 政策制度改善の取り組み

先の第22回参議院選挙は、政権与党となった民主党に対して、厳しい指摘がある中での取り組みとなりましたが、皆さんの大きなご支援のおかげで、私たち働くものの代表として、直嶋正行さん、藤本祐司さんを国政の場に送り出すことができました。役員の方々をはじめ、組合員・家族の皆さんのご支援に心から感謝申し上げます。

また、今回の取り組みは2009年の夏に実現した政権交代の基盤を確かなものとし、安定した政権運営をめざした重要な取り組みでしたが、結果的には参議院では与野党が逆転し衆議院とのねじれ状況となりました。

厳しい経済状況と深刻な税収不足・そんな中で膨らむ社会保障費、そして巨額な借金・雇用環境においても、若者を中心とした深刻な就職状況、年金の受給年齢の引き上げによる継続雇用課題や所得格差。今の日本には政策の実行を停滞させることは許されぬ状況にあります。

民主党には、政権与党の責任としてこの難局を乗り越え、私たちが純粋に求める国民第一、生活第一の国づくりを進めていただきたいと思います。

そして、政権交代が実現した今、労働組合の役割と責任はますます大きくなっていきます。スズキ労連としても、議員のみならずとの連携を更に深めながら、政策制度課題の改善に向けての取り組みを進めてまいります。

また、来年4月に行われる統一地方選挙において、田口章をはじめ推薦候補者全員の必勝に向けて活動を進めてまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

### 取り巻く環境の変化と課題

この2年間の活動を振り返れば、極めて変化の激しい2年間でありました。

2年前に起こった金融危機から、世界各国の経済は急速に悪化し、極めて厳しい状況になりました。そして、外需依存度の高かった日本経済は、輸出の大幅な落ち込みや国内市場の低迷、円高も加わり、各企業の事業環境は激変し、先進国の中でも大きな落ち込みを経験することになりました。この危機に対して、企業や職場においても直面する苦境を乗り切るために、減産による工場広援や勤務形態の変更・一時帰休などの働き方への変化と、商品ラインナップの見直し、定時消灯帰り、出張・会議の見直し、文房具購入ゼロといった内なるコストダウンなどの施策を展開し、まさに各労使が雇用と生活を守るための取り組みを懸命に進めてきました。

そして、世界各国の財政出動や公的資金の投入などの効果と中国、インドをはじめとした新興国の旺盛な需要に支えられ、2年が経った現在は一時の危機は脱出し景気は回復基調といわれていました。

しかし、ふと足元をみれば、2年前とは世界経済や産業構造が大きく変わるとともに、現在の日本の経済も、長期間のデフレの進行と不安定な為替動向の中で、大きな岐路に立たされている状況にあります。また、下期からエコカー補助金が打ち切られ、生産や販売が確実に減少する中で、直近の円高は自動車産業をはじめとした輸出産業に深刻な打撃を与えつつあります。

そして、サブプライムローンが表面化してから、現在までの長期間に亘る円高(ドル安)とギリシャの金融危機以降のユーロ安は、想定以上の規模とスピードで海外生産へのシフトや現地調達への拡大につながりかねない要素を含んでいます。

加えて、もうひとつの懸念は日本のものづくりに対する優位性です。長年日本の企業や日本人が教えたものづくり技術を受け継いだタイの若者が、昨年の技能五輪世界大会で日本の得意としてきた旋盤の部で優勝し、メイドインジャパンの地位を脅かす存在までに成長していることや、日本有数の金型メーカーをタイメーカーが買収するという逆転現象の中で、さらに技術や投資が急速に海外に流れている状況にあることなど、想像以上に海外での生産性や技術が向上している状況下にあると感じています。

こうして、2年前までは欧米中心であった世界経済が、金融危機後の世界で、力強く発展を成し遂げているアジアを中心に移っていき

つつある状況の中で、今回の円高が継続した場合は、コスト競争力と品質が安定してきた新興国への更なる海外移転が加速され、国内産業の空洞化によって日本の経済に大きな打撃を与え、ひいては私たちの雇用や生活の安定を脅かす結果となっていく懸念があります。先日開催された自動車総連の大会においても、こうした状況を共有化し、産業の健全な発展に向けての意志を確認したところです。私たちスズキ労連も、上部団体である自動車総連の産業全体の健全な発展に向けての運動に参画していくとともに、個別労使においては職場とのコミュニケーションを基軸とした、日本の強みである労使の信頼関係を更に育んでいく必要があります。スズキ労連も、グループ全体で更に共通認識を高め、永続的な雇用の確保と生活の安定に向けての活動を展開してまいります。

### 仲間づくりと運動の強化

この数年間、仲間を増やす活動(組織拡大)を労連方針の大きな柱に据え、スズキグループに働く仲間の一体化と幸せづくりに向けて、強力に活動を進めてきました。

特にこの5年間は、直営販売会社に働く仲間に組合づくりを呼びかけ、この大会までに48支部約7000名の仲間作りを終えることができました。この間の労連全体のご理解とご支援に対し心から感謝申し上げます。

しかし、この活動は終わった訳ではなく、来期以降も通常のスズキ労連活動の中で、労働組合のない部品製造会社や非製造会社、オーナーを含めた販売会社を中心に、常に「すべての働く人を一人にしない、させない」といった視点に立ちながら取り組みを進めてまいります。

こうして、スズキ労連も全国に組合員を持つ組織へと発展する中で、変化に対応した組織運営を構築していく必要があります。この1年間は、より充実した活動を目指し、労連と各組合との役割分担の明確化や負担のあり方、組織体制、人づくりという幅広い視点で検討する、あり方・財政検討委員会を設置し検討を重ねてまいりました。

詳細については、後ほどの報告事項でいたしますが、総じていえば教育活動や販売部会、車体部品部会の専門活動の充実させ、加盟組合との連携強化を重点とした、よりどころとなる労連づくりを進めてまいります。

また、これまでの仲間を増やす活動を通じて、47都道府県のうち44の都道府県にスズキ労連の加盟組合ができました。これまでは結成して間もないこともあり、内部体制の確立を主体にしてきましたが、各県には、自動車総連や連合の地域協議会があり、それぞれの地域においてもその役割が求められています。

こうしたことから、労連としても全国を結ぶネットワークの要として、地域における連帯と責任を果たしていくという新たな活動をスタートしてまいります。

### 労連の共闘について

労連には労連内で働く人の格差を防ぎ、グループ全体で健全な発展をめざしていく役割があります。基本的な労働条件である賃金については、賃金実態の把握に努めるとともに、賃金カーブ維持分の峻別や未組織労働者に影響を与える企業内最低賃金の引き上げと協定化などを、年間を通して着実に進めてまいります。

また、今年の春の取り組みにおいて、9組合が所定労働時間の短縮を実現いたしました。その交渉過程において、経営側は時短は賃上げに等しいとの見解を出しつつも、時短に対する必要性や思いを理解し、今後も成果を検証した上で時短を進めていくこととしました。したがって、今後は、労使で成果の検証方法や共闘のあり方などを共有しながら、確実な前進を図っていきたくと思っています。

### 今後に向けて

スズキ労連は2年後の2012年、結成40周年を迎えます。結成された1972年以降、すぐに起こったオイルショックの中で、スズキグループ労使にとっても、厳しく苦しかった排ガス規制の対応や80年代の新たな産業構造の中で、85年のプラザ合意後の急激な円高対応、90年代以降のグローバル経済の進展や国際的な企業再編など、幾多の困難を乗り越えて今日まで活動をしてきました。こうした先人たちの思いを感じながら、重要なこの2年間をみんなの知恵と行動で乗り切り、40周年を迎えていきたくと思っています。

### 最後に

この大会をもって多くの役員の皆様が退任をされます。これまでの活動に対して心から感謝申し上げますとともに、今後、各職場においてのご活躍をお祈りいたします。

皆様のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。執行部を代表しての挨拶とします。

# 議 件

## 1)スズキ労連規約改定の件

### ○役員の変更

事務局の役割と責任を明確にして事務局の渉外力向上と組織内の連携強化を図る。

| 現 行  | 改 定 案   |
|--|---|
| 第5章 役 員<br>(役 員)<br>第33条 この労連には、次の役員をおく。<br>(4)事務局次長 | 第5章 役 員<br>(役 員)<br>第33条 この労連には次の役員をおく。<br>(4)副事務局長 |



提案者の秋場副会長

投票にて承認(賛成122票・反対0票・無効1票)

### ○副会長の任務の追記

副会長が複数の場合、会長の職務を代行する副会長を明確にし、会長が事故または不在の際に円滑な業務執行を図る。

| 現 行  | 改 定 案  |
|--|--|
| 第5章 役 員<br>(役 員)<br>第36条 副会長は、会長を補佐し、会長が事故または不在の場合は、その職務を代行する。 | 第5章 役 員<br>(役 員)<br>第36条 副会長は、会長を補佐し、会長が事故または不在の場合は、その職務を代行する。<br>また、互選により会長代行を1名選出することができる。 |

### ○上部組織派遣役員の任務の追記

中央執行委員会内での上部組織派遣役員の位置付けが明確にする。

| 現 行  | 改 定 案  |
|--|--|
| 第5章 役 員<br>(上部組織派遣役員の任務)<br>第40条 上部組織派遣役員はこの労連より派遣され、上部組織の業務に専任する。 | 第5章 役 員<br>(上部組織派遣役員の任務)<br>第40条 上部組織派遣役員はこの労連より派遣され、上部組織の業務に専任する。<br>上部組織派遣役員は特別中央執行委員として、中央執行委員会における議決権および執行権を持たないが、随時これに出席し、発言することができる。 |

### ○専門部の変更

設置されている専門部をすべて記載する。

| 現 行   | 改 定 案   |
|---|---|
| 第6章 局および専門部<br>(専門部)<br>第49条 組織、調査、教宣、文体の担当者を置き専門的業務を行なう。 | 第6章 局および専門部<br>(専門部)<br>第49条 以下の専門部は担当者をおき専門的業務を行なう。<br>(1)賃金対策部<br>(2)組織部<br>(3)政治部<br>(4)産業対策部<br>(5)文体部<br>(6)ヤングリーダー部<br>(7)安全対策部<br>(8)教育・広報・共済対策部 |

### <質 疑>



質問者 スズキ労組西條さん



執行部答弁 根木事務局長

Q.副事務局長に名称を変更して、具体的にどのようになるのか？

A.上部団体である自動車総連の名称変更に合わせて、責任を重くおき事務局長に代わる代行業務ができるようになりました。

## 2)退職積立金の一般会計戻し入れおよびスズキ労連会計処理規定改定の件

### ○退職積立金の一般会計戻し入れ

現在、特別会計においてスズキ労連職員(書記)の退職積立金が、退職支給に備えるべく、積み立てている。しかし、スズキ労連の書記はスズキ労働組合の職員が派遣されており、雇用関係はスズキ労働組合にあることから、書記の人件費対応はスズキ労働組合に一本化し、スズキ労連としてはスズキ労働組合と職員派遣に関する契約を交わした上で固定額の交付金をスズキ労働組合に支払う方法に変更することから、現在積み立てている退職金を、一般会計に戻し入れる処理を行なう。

### ○スズキ労連会計処理規定改定について

- ・別途積立金繰入金支出の使用目的を具体化するため、摘要欄の使用目的の記載を変更する。
- ・いずれの資産取得にも属さない支出への対応のため、支出科目に『その他資産取得支出』の科目を追加する。
- ・いずれの負債受入にも属さない収入への対応のため、収入科目に『その他負債受入収入』の科目を追加する。
- ・特別会計からの戻し入れ処理が発生した場合への対応のため、収入科目に『特別会計戻入金』の科目を追加する。



提案者の古川副会長

挙手にて承認(賛成122・反対0・保留1)

## 3)第39期・40期運動方針(案)の件

### ○運動方針骨子

- 1.安心な生活づくり  
1)労働条件の維持向上  
2)政策制度課題の改善と政治活動への取り組み
- 2.魅力ある企業づくり  
1)雇用確保と経営対策活動  
2)労使協議の充実  
3)安全で働きやすい職場環境づくり  
4)カウンターパートナーとしての役割
- 3.労働組合組織の充実  
1)専門活動の推進  
2)組織体制の強化  
3)労連の仲間を増やす活動の推進  
4)女性参画の推進  
5)上外部組織・団体、友誼労組との連携  
6)国際連帯活動の推進  
7)業種別活動の推進  
8)労連40周年に向けた取り組み



提案者の根木事務局長

挙手にて承認(満場一致)

## 4)第39期・40期役員定数・役員選挙の件

### ○第39期役員定数

- ・会長 1名・副会長 4名・事務局長 1名・副事務局長 2名
- ・中央執行委員 17名・上部組織派遣役員 3名・会計監査人 2名

### ○第39期役員選挙

- ・選挙区分 全役員
- ・任 期 第39期・第40期
- ・選挙運営 選挙管理委員会に委嘱する。

## 5)第39期予算(案)の件

### <質疑>



質問者 スズキ労組松島さん



執行部答弁 眞子事務局次長

挙手にて承認(満場一致)

Q.安全標語活動で参加賞を工夫するなどして、より元気が出る活動にして欲しい。

A.参加人数が読めない中でも、今後より参加したくなるような賞品を検討していきます。

## 6)特別決議統一地方選挙必勝決議(案)

拍手にて承認(拍手多数)